

瑞浪市公共施設等総合管理計画

個別施設計画

【スポーツ・レクリエーション施設】

④体育館等（スポーツ施設）

（第1期第7版）

令和8年3月

瑞浪市みずなみ未来部スポーツ文化課

目 次

1. 計画の策定について	1
（1）計画策定の趣旨	1
（2）計画の位置づけ	1
（3）対象施設	1
（4）計画期間	2
2. 現状と課題について	2
（1）個別施設の状態等	2
（2）少子高齢化に伴うスポーツ人口の減少と多様化	4
（3）ニーズの多様化への対応	5
3. 計画策定方針について	5
（1）基本方針	5
（2）対策の優先順位の考え方	6
4. 具体的な取組内容について	6
（1）対策内容と実施時期	6
（2）対策費用と今後の方向性・スケジュール	7

改訂履歴

初版	平成30年2月
第2版	令和3年3月
第3版	令和4年3月
第4版	令和5年5月
第5版	令和6年3月
第6版	令和7年3月
第7版	令和8年3月

1. 計画の策定について

(1) 計画策定の趣旨

瑞浪市では、市民体育館を中心として市内に9か所のスポーツ・レクリエーション施設を整備しており、年間15万人から18万人の利用があります。

しかしながら、スポーツ・レクリエーション施設の状況は、昭和の終わりから平成の初めに整備された施設が多く、耐震化に関する対策は必要ないものの、そのほとんどが設置から25年以上を経過しており、計画的な修繕等による長寿命化を進めるなど、老朽化への対策が必要な状態となっています。

少子高齢化の社会が進む中で、国が推進する「国民のだれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現」に基づき、スポーツやレクリエーション、最近では気軽に行えるニュースポーツが考えられ、高齢者に限らず、障がい者を含め様々な人が気軽にスポーツに親しんでいます。

しかしながら、若年層についてはスポーツ離れが進んでいるといわれており、スポーツ少年団の登録団員数が10年前（平成19年度（2007年度））の670人（18歳以下人口7,825人）から平成29年度（2017年度）の400人（減少率-40%）（同人口6,132人（減少率-22%））へ減少しています。ただし、サッカーなどのスポーツ少年団ではないスポーツクラブに参加している子どももいるため、必ずしも減っているとは言いきれませんが、野球など以前は非常に人気の高かったスポーツについて、競技人口が減ってきています。

そういった中、施設により利用が減っている施設や、逆に利用率が高く抽選で利用者を決定しなくてはならない施設の差がだんだん大きくなってきていることから、施設全体の見直しをする必要がでてきました。

このような課題等に対処していくために、スポーツ施設の個別施設計画を策定し、取り組んでいきます。

(2) 計画の位置づけ

本計画は、「瑞浪市公共施設等総合管理計画」の個別施設計画として位置づけています。

(3) 対象施設

本計画の対象施設は、平成26年度（2014年度）に整備した固定資産台帳による瑞浪市のスポーツ施設で、次の9施設です。

対象とするスポーツ施設

中分類	小分類	施設数	施設名称
スポーツ・レクリエーション施設	体育館等	9	市民体育館 市民テニスコート 狭間川テニスコート（H30 除却） 市民野球場 樽の上野球場 市民競技場 市民アーチェリー場 市民弓道場 日吉スポーツ施設

(4) 計画期間

スポーツ・レクリエーション施設の整備計画を進めるにあたっては、本市における施設全体の適正な配置を考慮した上で、整備が必要な施設を明確にし、取り組んでいく必要があります。

本計画の期間は、「瑞浪市公共施設等総合管理計画」の個別施設計画という位置づけから、平成29年度（2017年度）から令和8年度（2026年度）までの10年間を第1期とし、ローリングします。

なお、5年ごとに見直すことを基本としている瑞浪市公共施設等総合管理計画と整合を図っていきます。

2. 現状と課題について

(1) 個別施設の状態等

利用者の安全性・利便性を確保するために、これまでも必要に応じて各施設の改修等を行ってきています。

しかしながら、大半のスポーツ・レクリエーション施設が老朽化していることから、今後も計画的に点検・診断を行い、改修が必要な施設については、基本計画等に包含して実施します。

また、整備を進めるにあたっては、それぞれの施設が抱える様々な課題の解消を考慮するとともに、ニーズに応じた適正な施設の整備や環境を整えていく必要があります。

この計画で対象となる全スポーツ・レクリエーション施設の状態等は以下のとおりです。

施設名	建築年度	延床面積	構造	老朽化率
市民体育館	H3（1991）年度	6,785 m ²	鉄骨鉄筋 コンクリート造	61.6%
市民テニスコート	S61（1986）年度	207 m ²	鉄筋 コンクリート造	81.9%

施設名	建築年度	延床面積	構造	老朽化率
狭間川テニスコート	S56 (1981) 年度	—	—	—
市民野球場	S61 (1986) 年度	—	—	100.0%
樽の上野球場	S46 (1971) 年度	7 m ² (トイレ)	—	—
市民競技場	S60 (1985) 年度	—	—	8.8%
市民アーチェリー場	S61 (1986) 年度	—	—	82.5%
市民弓道場	H17 (2005) 年度	625 m ²	鉄骨鉄筋 コンクリート造	30.8%
日吉スポーツ施設	体育館	S62 (1987) 年度	鉄筋 コンクリート造	70.4%
	武道館	S62 (1987) 年度	軽量鉄骨造	96.0%

※令和元年度（2019年度）固定資産台帳によるデータ

これまで実施した施設更新内容

施設名	建築年度	更新年度と内容
瑞浪市民体育館	H3 (1991) 年度	R5 (2023) 年度～R6 (2024) 年度【大規模 修繕】
樽の上野球場	S46 (1971) 年度	H12 (2000) 年度【全面改装】 R5 (2023) 年度～R6 (2024) 年度【ナイター 設備撤去】
瑞浪市民競技場	S60 (1985) 年度	H11 (1999) 年度【進入路拡張】
		H13 (2001) 年度【暗渠排水補強・コースラ イン張替】
		R1 (2019) 年度【トラック及びトイレ改修】
		R3 (2021) 年度【本部棟改修】
瑞浪市民野球場	S61 (1986) 年度	H11 (1999) 年度【バックスクリーン設置】
瑞浪市民テニスコート	S61 (1986) 年度	H12 (2000) 年度【全天候 2 面を人工芝に 改修・2 面増設】
		H14 (2002) 年度【クレール 4 面を人工芝に改 修】
		H22 (2010) 年度【人工芝 4 面増設・クラ ブハウス大規模改修】

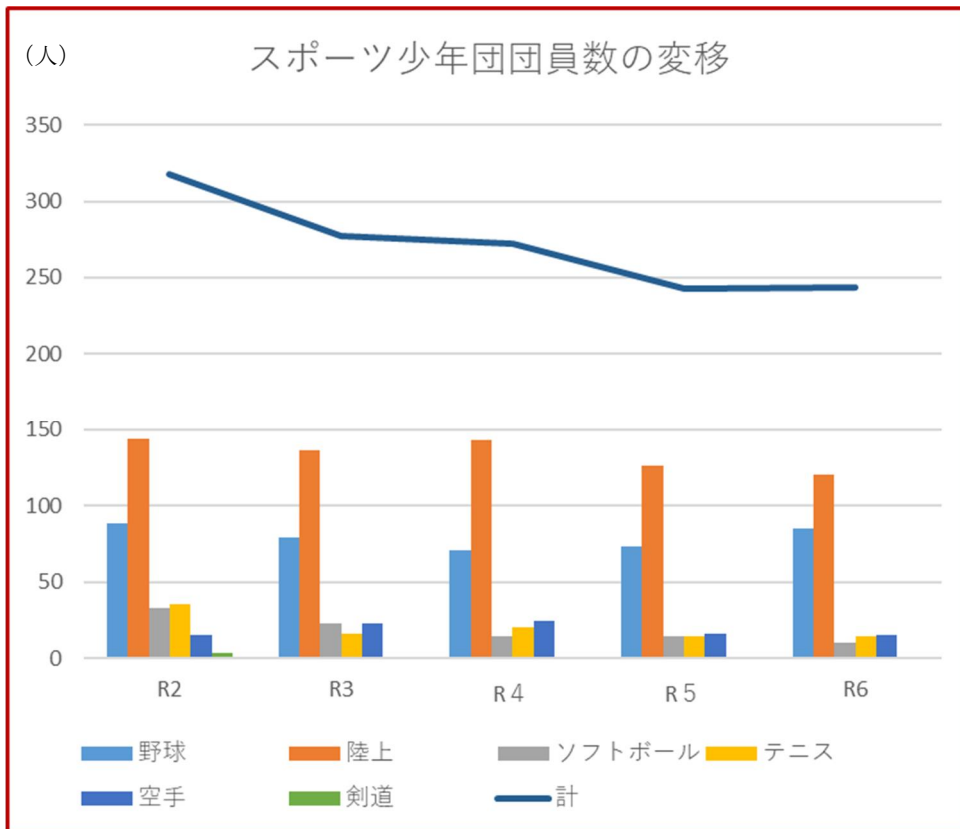
(2) 少子高齢化に伴うスポーツ人口の減少と多様化

少子高齢化が進行することに伴い、スポーツ少年団に所属する児童の数は、計画策定の趣旨でも述べたように減少してきています。

また、児童数が減るばかりでなく、単位団の団体数についても団体としての維持ができなくなり、本来小学校区単位での活動であるものが、合併することでしか維持できない単位団も増えてきており、平成17年度（2009年度）時点で25単位団であったものが、令和2年度（2020年度）時点で19単位団まで減少しています。

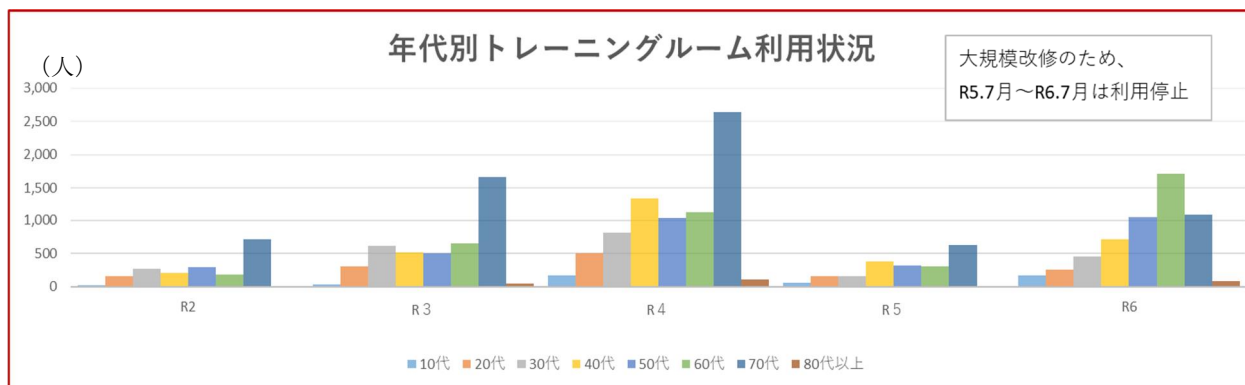
一方、平成13年（2001年）頃にはサッカーのクラブチームや、平成17年（2009年）頃からは新体操、ミニバスケットなど様々なジュニアクラブが活動を開始し、児童のスポーツ活動の選択肢が広がってきています。

しかしながら一部のスポーツについては、10年間で半分以下の団員数となっている種目もあり、児童のスポーツ離れを象徴しているかもしれません。



次に、高齢者については、団塊の世代と呼ばれる年代を中心に高齢化率が年々高まる中、余暇を自分の体力に合わせ、自分のペースで行えるスポーツやレクリエーションに取り組む方が増えてきています。これまでのウォーキングに加え、ポールを使ったノルディックやポールウォーキング、スポーツ吹矢など人気が出てきており、ゲートボールやミニゴルフなど競技性の高いものは、下火になりつつある傾向が見受けられます。

トレーニングルームにおいて、平日昼間の利用者の大半は、60歳以上が占めており、健康づくりに取り組んでいます。

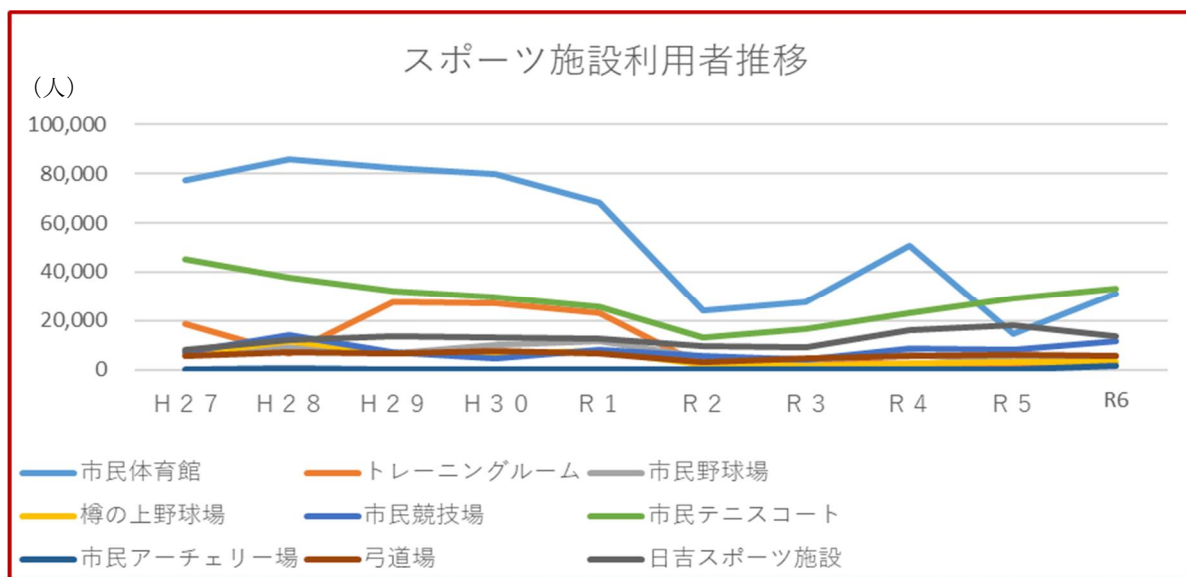


(3) ニーズの多様化への対応

様々なスポーツやレクリエーションへの取り組みは、スポーツに親しむ機会を増やし、生涯スポーツの実践に寄与するものです。

しかしながら、現在ある施設はおおむね昭和 60 年代～平成の初めに整備されたものが多く、施設の劣化や老朽化が著しく、すでに競技の実施に影響が出ているもの又は今後支障が出る可能性が高いものも多く見受けられます。

また、多様化が進む中で、利用率の下がっている施設もあり、今後の施設の維持・管理をどのようにしていくかが課題となっています。



※弓道場は平成 18 年度（2006 年度）から、日吉スポーツ施設は平成 21 年度（2009 年度）から供用を開始、アーチェリー場は改修のため、平成 22 年度（2010 年度）は利用休止。市民体育館は改修のため、令和 5 年 7 月から令和 6 年 7 月まで利用休止。

3. 計画策定方針について

(1) 基本方針

現行のスポーツ・レクリエーション施設の大半が老朽化している中で、引き続き市民が安心してスポーツに親しむことができるように、スポーツ施設の整備に取り組み、生涯スポーツの環境整備の向上を図っていきます。

(2) 対策の優先順位の考え方

スポーツ・レクリエーション施設の整備を進めるにあたり、利用者の安全の確保やニーズへの対応など各施設における現状と課題について、次の視点から総合的に検討し、緊急性と実現性の高い施設から取り組みを進めていきます。

○利用者の安全の確保

- ・施設に著しい老朽化が見られる、災害に関するリスクが高い要因があるなど、施設や立地に起因する課題を抱え、利用者の安全を確保する上で、課題のある施設については、その解消を図るため優先的に取り組みます。

○ニーズや課題への対応

- ・様々なスポーツやレクリエーションで活動する市民の増大による施設利用の過密化や、既存スポーツ人口の減少による既存施設の利用率の減少など、生涯スポーツの推進を行う上で課題のある施設については改修、統廃合や広域化など優先的に取り組みます。

○財源の確保

- ・国及び県等の補助事業や起債など財源が活用できる施設整備については、活用できる期間等を考慮し、優先的に取り組みます。

○費用対効果

- ・施設整備に伴う費用と、整備により得られる歳出削減額の効果を検証し、より高い費用対効果が見込まれる施設については、優先的に取り組みます。

4. 具体的な取組内容について

(1) 対策内容と実施時期

老朽化をはじめ、施設に課題を抱えている施設については、利用頻度等を踏まえて改修又は廃止することとし、耐用年数を超えて改修する場合は他の次の対策について検討します。

○長寿命化、集約化、広域化

- ・屋外スポーツ施設の多数が老朽化率80%を超えることから、利用頻度を踏まえ、長寿命化、集約化について検討します。
- ・スポーツ・レクリエーションの活動内容が多様化する中で、市単独では設置・管理が難しい施設については、広域化について検討します。

(2) 対策費用と今後の方向性・スケジュール

施設名	建築年度	耐用年数	使用目標年数	今後の方向性	実施年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
瑞浪市民体育館	H3	47		集約化	対策内容			基本調査・屋上一部改修・トレーニング室エアコン改修		改修設計		改修工事	→		
					対策費用			41.6		30		788	→		
狭間川テニスコート	S56	30		集約化・除却	対策内容	廃止	除却								
					対策費用		2.6								
樽の上野球場	S46	30	70 H15年改修済	集約化	対策内容							照明除却	→		
					対策費用							2.8	→		
瑞浪市民競技場	S60	30		集約化	対策内容	実施設計	改修工事	実施設計		改修工事					
					対策費用	18	230	1.43		50					
瑞浪市民野球場	S61	30		集約化	対策内容										
					対策費用										
瑞浪市民テニスコート	S61	38		集約化	対策内容		芝メンテナンス					芝メンテナンス			
					対策費用		1.1				1.9				
瑞浪市民アーチェリー場	S61	40		広域化・除却	対策内容										
					対策費用										
瑞浪市民弓道場	H17	47		広域化・除却	対策内容	安土、壁修繕									
					対策費用	4									
瑞浪市日吉スポーツ施設	S62	47		集約化・除却	対策内容										実施設計
					対策費用										7

- ・施設の法定耐用年数を超えて延伸させることを目的とした長寿命化改修を行う場合は、施設の使用目標年数とその必要性を記載すること。
- ・対策費用の単位は、百万円とすること。(対策費用は概算であり、変更する場合がある)